

みんなが住みたい 理想のまちへ

—— 人間環境都市を目指して ——

皆さんは、これから苫小牧をどのようなまちにしたいですか？
苫小牧が実現を目指す理想の都市像は「人間環境都市」です。
人間環境都市の実現に向けて、誰もが住みやすく、
心地よく活躍できる環境づくりを進めるために、
平成30年度から新たな苫小牧市総合計画
(基本構想、基本計画、実施計画)がスタートします。
笑顔があふれるまちづくりへ向けて、
苫小牧はこれからもチャレンジし続けていきます。



詳 政策推進課 回 (32)6039

人間環境都市とは

苫小牧市の人間環境都市は、昭和48年に人間環境都市宣言を行ったことに始まります。この宣言と同時に、本市で初めて定めた基本構想（まちづくりの目標と方針を示すもの）の中で、人間環境都市を理想の都市像として位置付け、以降、その実現を目指したまちづくりを行ってきました。

時代の流れに合わせて 変わり続ける理想像

理想の都市像である人間環境都市の定義は、時代背景や社会ニーズの変化に合わせて、基本構想の中で、少しずつ変更を加えてきました。平成30年2月に改定した新しい基本構想においても、人間環境都市の定義を、変わりゆく社会情勢を見据え、さらに発展させた内容に更新しています。

これからの未来を 見据えた人間環境都市

これまでの人間環境都市は、主に自然と調和した快適な環境を保つことを意識したものでした。このことを継続

探してみよう!

「緑の環」は
市内5カ所に
設置されているよ。
全部見つけられるかな?

①『緑の環』

昭和48年の人間環境都市宣言を記念し、作成されたブロンズ像。市民一人一人が理想都市創造への新たな決意と願いを込め建立



人間環境都市の定義

[基本構想(平成30年2月改定)より]

人間主体のまちであり、豊かな自然と調和した文化の薫り高く潤いのある快適な生活環境の中で、共に生き生きと心豊かに暮らしながら、全ての市民が持てる能力で社会に貢献し、未来に向かって挑戦し続けるまち

するとともに、これからの人間環境都市では、人口減少と少子高齢化が進む時代の中で、家庭や雇用を含む生活環境においても、人々の希望を捉え、心地よく活躍できるまちづくりに挑戦し続けることを目指します。